



西中だより

教育目標

豊かな人間性を培う
創造 自律 敬愛 健康

令和7年7月25日発行
第4号

「挨拶が持つパワー」

余市町立西中学校長 豊田 一正

7月11日、暑さが心配でしたが、思っていたほど気温は上がりず良いコンディションの中で体育大会を行うことができました。グラウンドは PTA の皆さんや今年は町内の公務補さんが協力し整備をしてくれたおかげで最高の状態でした。ありがとうございます。体育大会では、一生懸命に競技に参加する姿やチームを応援する姿が見られ、3年生のリーダーシップも光っていました。終了後に撮ったチームや学級の写真の表情からも充実感や満足感を感じてくれたのではないかと思います。今年も多くの方の保護者の皆さんにご来場いただき、ありがとうございました。来年度もさらに多くの方に来ていただきたいと思います。よろしくお願いします。

1学期はこの他にも、新年度がスタートし、委員会活動や各学年の旅行的行事、中体連大会、そして、テストなどがありました。1年生は環境が大きく変わりました。戸惑ったこともあったと思いますが、段々と慣れてきて中学生らしさを感じています。2年生は部活動では3年生の後を引き継ぎました。これからさらにバトンを受けることが増えてくるのでよろしくお願いします。3年生は、受験を一層意識しなければならない時期になりました。進路実現に向けて努力するしかありませんね。自分のために頑張ってください。生徒の皆さんには慌ただしく感じたであろう1学期をしっかり振り返り、今後に向けて何をすべきかをしっかり考えてほしいと思います。



さて、先日、社会を明るくする運動の沢町地区ミニ集会に呼ばれ、地域の方とお話をする機会がありました。話題は「挨拶」や「地域」について、「以前に比べて挨拶をする子が少なくなったのでは」「声をかけても反応がないことがある」「お祭りへの参加が少なく寂しい」などということを知りました。最近是不審者の問題もあるので、誰にでも声をかけるということは難しくなっていますが、声が小さかったり、挨拶をしているのかわからない様子は相手を寂しく感じさせてしまいます。もう二十年前になりますが私が勤務していた当時の西中は生徒が多かったこともありますが気持ち良い挨拶が響いていたように思います。挨拶は「心を開き、その心に近づく」という意味があり、「挨拶は大切だ」ということは誰でも知っているはずなのに「なぜもっと…」と悩んでしまいます。私は朝は外で挨拶をするようにしていますが「もっと元気よく」「聞こえないと意味ないのに」「先生方に進んで挨拶すればいいのに」などと思うことがあります。逆に「おはようございます」と元気な挨拶や「暑くないんですか」と優しい言葉をかけられると「今日も頑張ろう！」という気持ちになります。どうですか、お子さんは家でしっかり「おはよう」「行きます」などと言っているのでしょうか。また、保護者の皆さんも「おはよう」「行ってらっしゃい」と言っているのでしょうか。挨拶はコミュニケーションの基本です。コミュニケーションは社会や会社で最も大切なことだと言われ、身につけるのは今じゃないかと思います。

挨拶が持つパワー

- 大きな声で挨拶すると気持ちが良くなる。
- 気分が良くなり、元気が出る。
- 人間関係が良くなり、信頼が高くなる。
- 良い印象を与えられる。 by 校長

今回は「挨拶」のことを書かせていただきましたが、明日から始まる夏休みでは家庭でお子さんとお話しをする機会を多く持ってほしいと思います。話題は挨拶のこともいいですし、学校や学級の様子、先生のこと、進路のこと、将来のことなど何でも良いと思います。

終わりになりますが、1学期の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございました。厳しい暑さが続きますが、2学期への大きな弾みとなるようご家庭においてもお声かけをよろしくお願いいたします。始業式には生徒と気持ちの良い挨拶をかわしたいと思っています。